

中筋川総合開発事業（横瀬川ダム）の促進

政策提言先 国土交通省

政策提言の要旨

中筋川沿川地域の浸水被害の軽減及び四万十市の上水道の安定的な供給を確保するため、横瀬川ダムの平成31年度完成に向け、事業計画にもとづく着実な事業投資をしていただくよう提言します。

【政策提言の具体的内容】

○中筋川沿川地域では、中筋川ダムの完成以降も、平成26年6月の豪雨や平成28年9月の台風16号など、豪雨のたびに、家屋、農地、国道等の浸水被害が発生しており、洪水調節機能を持つ横瀬川ダムの建設が急務となっています。また、横瀬川ダムは、四万十市の上水道の水源としても位置付けられています。このため、浸水被害の1日も早い解消と衛生的な飲料水の安定確保に向け、県としても横瀬川ダムの建設事業が円滑に進められるよう地元調整に努めてまいりますので、平成31年度完成を目指し、事業計画にもとづく集中的かつ着実な事業投資をしていただくよう提言します。

【政策提言の理由】

- 中筋川の上流は約1/80と急勾配ですが、平地に出ると約1/8,000と急激に緩勾配へと変化しているため、中流域から下流にかけては本川である四万十川の水位の影響を受け、洪水が流れにくくなっています。このため、中筋川ダム完成以降も、国道56号や住宅等が浸水するなど、沿川の社会・経済活動に大きな支障が出ています。
- 内水を含む度重なる水害は、地域の安全で安心な生活を脅かしており、流域の浸水被害を軽減するためには、これまで行ってきた内水排除のポンプの設置や河床掘削に加えて、横瀬川ダムの建設が不可欠です。
- また、ダム下流の上水道の給水区域では、現在、渇水時には水源の水位が低下し、増水時には濁水が発生するなど、安定かつ衛生的な給水ができない状況です。このため、四万十市は横瀬川ダム事業に利水参画し、すでに水道事業計画に基づく施設整備を一部実施していることから、ダムの建設が急がれます。
- 現地ではダムの完成に向け、24時間体制で着実に工事を進めて頂いており、関係者の皆様のご尽力に改めて感謝いたします。

【高知県担当課】 土木部 河川課